

平成29（2017）年度 事業報告書



写真：2017インカレ女子ロードレース
ORIGINAL PHOTO:TAKAGI Hideaki

日本学生自転車競技連盟
JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION



1 はじめに

平成29年度（2017年度）はオリンピック種目重点強化策の一環として第1回 全日本学生選手権オムニウム大会を実施しました。トラック・オムニウムは学生選手が2020五輪で活躍が期待される種目の有力候補であり、2018年度にはインカレでの実施を予定しています。

全日本学生ロードレース・カップ・シリーズは創設から13年目にはいり、最終戦（明治神宮大学クリテリウム）では昨年の日本初公道使用タンデム・ロードレースに続き、ハンドサイクルレースを実施し、一定の社会貢献を果たしています。

全日本学生トラック・レース・シリーズ開催数も安定期にはいり、トラック・ロード双方におけるスピード面での強化に貢献しています。本連盟主催UCIカレンダー登録トラック国際大会であるJICF国際トラックカップも継続しています。

普及啓発活動においては、警視庁と連携した「モデルサイクリスト事業」の実施による交通安全プロモーションを前年に引き続いて推進したほか、改めて加盟校に安全走行に関する注意喚起を行ってきました。

2 加盟校数・登録選手数等の推移

2017年度は加盟校数60で微増、登録選手数は737名と前年対比10名の増加があり、微増ながら過去最高記録更新となりました。近い将来に100校・1000名を目標としているところでありますが、引き続き加盟校・登録選手増加に向けた努力が必要です。

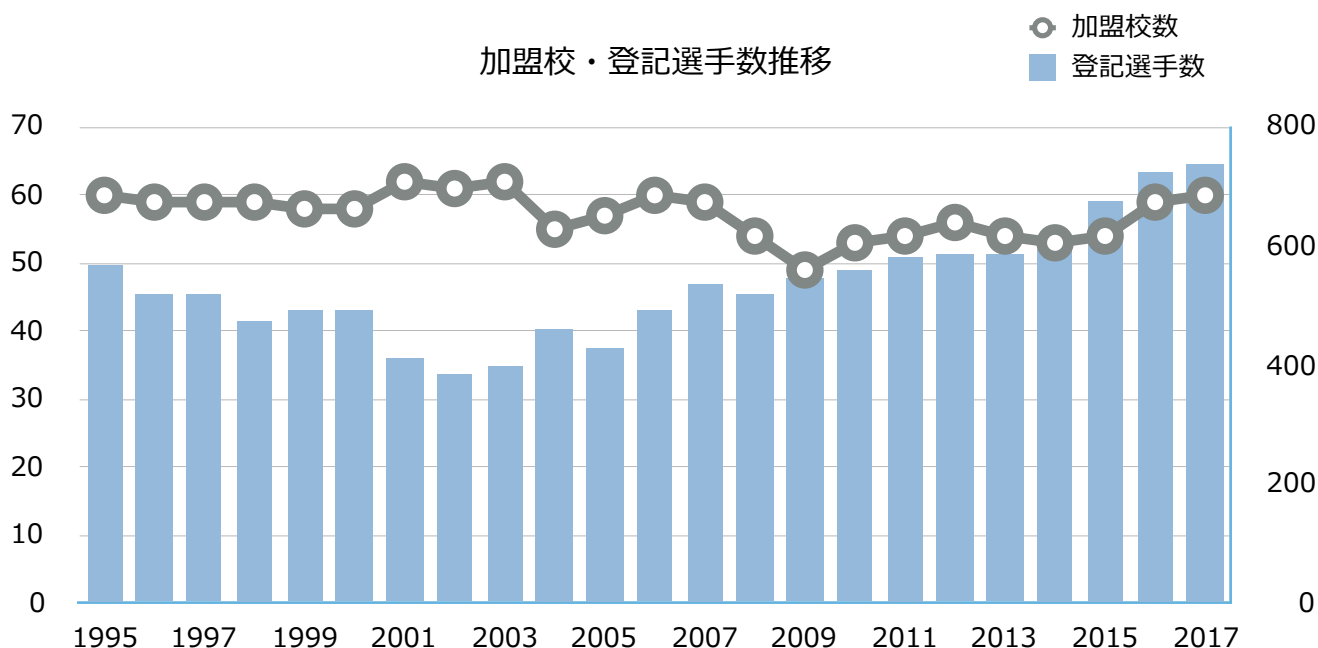
（JCF登録競技者数：8,593名/2018年3月）

また、審判員登録は110名で微減、本格的に講習会を開始したチームアテンダント登録は43名となりました。

（JCF登録審判員：2,600名、チームアテンダント：1,441名/2018年3月）

西暦	平成	加盟校	男子選手	女子選手	選手計	評議員	賛助会員	審判登録	アテンダント
1995	7	60			570	264		140	
1996	8	59			517	270		114	
1997	9	59	479	38	517	261			
1998	10	59	441	34	475	270			
1999	11	58	461	31	492	278	83	135	
2000	12	58	449	31	490		81	180	
2001	13	62			412	317	85	176	
2002	14	61			386	323	79	151	
2003	15	62			397	323	110	148	
2004	16	55	429	32	461	323	99	133	
2005	17	57	395	33	428	323	76	144	
2006	18	60	469	23	492	349	89	161	
2007	19	59	505	33	538	351	88	154	
2008	20	54	498	22	520	326	83	128	
2009	21	49	521	25	546	328	77	125	
2010	22	53	531	30	561	355	59	121	
2011	23	54	552	30	582	354	63	92	
2012	24	56	552	33	585	354	61	98	
2013	25	54	555	31	586	357	66	90	
2014	26	53	559	36	595	352	60	100	
2015	27	54	643	35	678	352	82	123	
2016	28	59	692	36	727	353	68	118	
2017	29	60	698	39	737	353	68	110	43

加盟校・登録選手数推移



3

3 大会の実施と参加者の推移

本年度事業日程に則り、下記の通り諸大会が実施されました。大会等当連盟主催事業への参加者数のべ人数はＲＣＳのラウンド数減少（埼玉の減少）がありましたが、微増となりました。既存の個々の大会はそれぞれの受入キャパシティの限界に達してきており、参加者総数の増加にはさらなる大会数の増加が必要な状況です。

年間を通じた大会数・参加機会の確保は競技活動の基本であり、引き続き各都道府県連盟や地方自治体との連携、協賛企業の協力を仰ぎながら、学生競技者の競技参加機会確保につとめ、同時に開催地域における自転車競技振興への寄与を図っていく必要があります。

平成29（2017）年度 日本学生自転車競技連盟 事業実施計画案（Ver2.9）																			2018.6.16.
月	日	曜	日	大	会	名	等												
						学連主催選手権大会等													
						全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ													
						全日本学生トラックレース・シリーズ													
						後援・代表派遣大会、会議等													
								種別	当番校・主催	男子	女子	OPEN	合計	動員数	プログラム印刷数	競技役員	会	場	等
平成29（2017）年度																			
4	8	土				全日本学生TRS第1戦	トラック			191	9	-	200	200	200	25	静岡県：日本ＣＳＣ 250m屋内トラック		
4	15-16	土・日				全日本学生RCS第1戦 第11回菜の花飯山ラウンド(クリテリウム)	ロード			168	-	2	170	300	300	30	長野県飯山市		
						同上第2日	ロード			168	-	2	170	300		30	長野県飯山市		
4	22	土				第1回理事会			会議								東京都渋谷区 岸記念体育会館		
4	29	土・祝				第19回 全日本学生選手権クリテリウム大会	ロード			157	7	-	164	200	200	30	滋賀県東近江市ふれあい公園		
5	5	金・祝				モデルサイクリスト・監視庁キャンペーン	協力										東京都・銀座		
5	6-7	土・日				第57回 東日本学生選手権トラック自転車競技大会	トラック	東京・順天堂		275	34	-	309	300	300	30	山梨県笛吹市：境川自転車競技場		
						同上第2日	トラック	東京・順天堂		275	34	-	309	300		30	山梨県笛吹市：境川自転車競技場		
5	5-6	金・土				第37回 西日本学生選手権トラック自転車競技大会	トラック	西日本		118	2	-	120	150	200	30	岸和田競輪場		
						同上第2日	トラック	西日本		118	2	-	120	150		30	岸和田競輪場		
5	20	土				全日本学生TRS第2戦	トラック			129	22	6	157	200	200	25	静岡県：日本ＣＳＣ 250m屋内トラック		
5	20-21	土・日				全日本学生RCS第2戦 第19回修善寺オープンロード+女子オープン	ロード				17	2	19	300	300	30	静岡県：日本ＣＳＣ 5kmサーキット		
						同上第2日	ロード	早稲田		223	17	6	246	300		30	静岡県：日本ＣＳＣ 5kmサーキット		
6	3	土				第56回 全日本学生選手権 チーム・ロード・タイムトライアル大会	ロード	中央・東京・西蔵		132	-	-	132	300	400	115	埼玉県加須市・羽生市 利根川河川敷		
6	4	日				全日本学生選手権 第28回全日本学生個人ロードTT自転車競技大会	ロード	中央・東京・西蔵		165	8	4	177	300	300	65	埼玉県加須市・羽生市 利根川河川敷		
6	10-11	土・日				第33回 全日本学生選手権個人ロードレース大会	ロード	明治・法政		157	11	2	170	250	300	50	岩手県紫波町		
						同上第2日													
6	17	土				チームアテンダント講習会	会議										東京・新宿歴史博物館		
6	18	日				チーム指導者講習会	会議										東京・岸記念体育会館		
6	18	日				第1回評議員会/第2回理事会	会議										東京・岸記念体育会館		
7	1-2	土・日				第58回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会	トラック	日本		340	60	-	400	350	350	60	静岡県：日本ＣＳＣ 250m屋内トラック		
						同上第2日	トラック	日本		340	60	-	400	350		60	静岡県：日本ＣＳＣ 250m屋内トラック		
7	15-16	土・日				JICF INTERNATIONAL TRACK CUP	トラック			60	8	50	118	300	300	25	長野県：松本市美鈴湖自転車競技場		
						同上第2日	トラック			60	8	50	118	300		25	長野県：松本市美鈴湖自転車競技場		
7	29-30	土・日				全日本学生RCS第3戦・第12回 白馬クリテリウムラウンド	ロード			272	5	9	286	1,000	200	30	長野県・白馬町特設サーキット		
						同上第2日	ロード			272	5	9	286	1,000		30	長野県・白馬町特設サーキット		
8	12-13	土・日				西日本大学対抗自転車競技大会	トラック			58	4	-	62	150	200	30	大阪府・岸和田競輪場		
8	31-9/2	木～土				文部科学大臣杯 第73回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会	トラック	立教		216	31	-	247	500	700	50	長野県：松本市美鈴湖自転車競技場		
						同上第2日	トラック	立教		175	31	-	206	500		50	長野県：松本市美鈴湖自転車競技場		
						同上第3日	トラック	立教		160	18	-	178	500		50	長野県：松本市美鈴湖自転車競技場		
9	2	土				第3回理事会	会議										長野県：松本市美鈴湖自転車競技場		
9	3	日				文部科学大臣杯 第73回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会	ロード	立教		176	30	-	206	500		50	長野県：大町美麻地区		
9	7-22					欧州遠征事業	ロード										欧州(ベルギー&オランダ)		
9	10	日				全日本学生RCS第4戦・山形村ヒルクライムラウンド	ロード			94	-	1	95	150	150	25	長野県山形村		
10	15	日				第53回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会	トラック	西日本		107	7	-	114	100	100	35	奈良県宮城野村		
10	15	日				第53回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会	トラック	東大+順大		148	13	-	161	200	200	35	福島県 泉崎国際サイクルスタジアム		
11	4	土				全日本学生RCS第5戦・大島三原山ヒルクライムラウンド	ロード			18	-	-	18	150	150	25	東京都・大島町		
11	5	日				第1回全日本学生選手権オムニウム大会	トラック	豊田+日体大		67	7	-	74	200	200	35	静岡県：日本ＣＳＣ 250m屋内トラック		
11	12	日				第31回東京六大学対抗自転車競技大会	トラック			61	-	-	61	150	200	35	千葉競輪場		
11	19	日				全日本学生RCS第6戦・浮城のまち行田クリテリウムラウンド	ロード			203	-	-	203	300	300	85	埼玉県行田市・運動公園前		
11	25	土				第4回理事会・研修会	会議										東京渋谷・岸記念体育会館		
12	3	日				全日本学生TRS第3戦	トラック			151	10	-	161	200	200	25	静岡県：日本ＣＳＣ 250m屋内トラック		
12	10	日				全日本学生RCS第7戦・埼玉ステージレース第1ラウンド	ロード			187	3	-	190	200	200	40	埼玉県・幸手工業団地内		
2018年																			
1	13	土				第5回理事会	会議										東京渋谷・岸記念体育会館		
1	21	日				全日本学生TRS第4戦	トラック			145	8	-	153	200	200	25	静岡県：日本ＣＳＣ 250m屋内トラック		
2	4	日				3級審判講習会	会議	審判委員会									東京渋谷・岸記念体育会館		
2	18	日				全日本学生RCS第8戦・埼玉ステージレース第2ラウンド	ロード			170	3	-	173	200	200	40	埼玉県・川島町		
2	未-3月中旬					欧州/オーストラリア合宿派遣事業（仮称）											オーストラリア・メルボルン周辺		
3	3	土				第6回理事会・第2回評議員会	会議										東京渋谷・岸記念体育会館		
3	4	日				チームアテンダント講習会	会議										東京渋谷・岸記念体育会館		
3	10	土				2018年度大会要項等説明会	会議										東京代々木・国立青少年五輪センター		
3	10	土				大学自転車フォーラム	会議										東京代々木・国立青少年五輪センター		
3	11	日				全日本学生RCS最終戦・第12回明治神宮外苑大学クリテリウム	ロード			239	21	54	314	12,000	900	145	東京都・明治神宮外苑		
3	18	日				全日本学生RCSオープン戦・守山クリテリウム（クラス3のみ）	ロード			70	-	-	70	150	150	25	滋賀県守山市		
3	23	金				全日本学生RCSオープン戦・渡良瀬遊水池タイムトライアル	ロード			26	-	-	26	150	150	25	栃木県栃木市 渡良瀬遊水池		
										6,091	495	197	6,783	23,350	7,750	1,610			
						凡例：RCS：ロードレースカップ・シリーズ、TRS：トラックレースシリーズ、													日本学生自転車競技連盟

4 選手権大会の開催

- ・全日本大学対抗（インカレ）：

長野県松本市美鈴湖自転車競技場でトラック・ロードレースを開催。

総合成績は、男子は日本大学、女子は日本体育大学が優勝しました。近年の競技力向上の成果もあり、多くの大会新記録と学連新記録が達成され、近年の学生競技者の競技水準向上が感じられる大会となりました。

- ・全日本学生選手権個人ロードレース大会：

例年の会場である長野県木曽郡木祖村コースの道路損壊により、本年は岩手県の国体レガシィである紫波町コースで実施されました。男子は日本大学の武山晃輔選手が優勝。女子は日本体育大学の谷 伊央里が優勝、オープン参加を認める大会でありOGの榎木も参戦して熱戦が展開されました。

男子は欧州派遣代表選考会のひとつとして位置づけられました。

- ・全日本学生選手権トラック大会：

静岡県伊豆市IZUベロドローム（屋内250m）で開催され、多くの大会新記録が達成されました。

- ・チームロード選手権：

前年に引き続き埼玉県加須市・羽生市の利根川河川敷にて開催されました。走路幅が狭い等の弱点があるものの、首都圏からのアクセスに優れ多くの観客・応援者がかけつけました。スタート・フィニッシュ地点は昨年に引き続き「おおとね童謡のふるさと室」で、補給地点を折返し近傍に設置され、上位8チームには車輪サポート用オートバイの伴走が用意されました。中央大学が優勝しました。

- ・個人ロードタイムトライアル選手権：

永年に亘り普及大会として行われてきた個人ロードタイムトライアルですが、世界選手権・オリンピックでも主要種目として位置づけられ、日本人は不得意とされているものの、素の実力を計り強化の基本となる種目であるという重要性に鑑み、選手権大会として位置づけられることとなりました。またタイムトライアルの特性として、オープン参加を取り入れても選手権者の決定に影響が出にくく、パラサイクリストなどへ門戸を開く方針で実施されています。

- ・全日本学生クリテリウム選手権：滋賀県東近江市で開催されました。

- ・東西学生選手権トラック：

東西共に2日間開催として開催されました。東日本は山梨県境川自転車競技場で、西日本は大阪・岸和田競輪場で開催されました。

5 強化・普及大会の開催

- ・全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ

シリーズ戦は2005年度2戦を皮切りに現在は12戦程度が行われ、明治神宮外苑大学クリテリウムを最終戦とするスタイルが定着しています。各地の都道府県連盟と連携して企画され、学生競技者の大会参加機会増大・地域における自転車競技活性化の両面において一定の成果をあげ、選手権大会の参加資格を持たない選手にとつては参加資格を得る機会数の増大、すでに参加資格を持っている選手にとっては実戦レースに於ける技量の高揚の効果があり、近年の新規加盟校・新規登録選手の増大にも寄与していると考えられます。当年度は、「明治神宮外苑大学クリテリウム」が12回目を迎え、オランダ・アムステルダム大学チームが参戦して積極的なレースが行われ、多くの観客の皆様がお越しになりました。更に2020東京パラリンピックに向けた施策として、パラサイクリング・ハンドサイクル公道レースを実施しました。

シリーズ戦は基本的に競輪補助金に依存せず、参加料・一般企業協賛金・開催地地方公共団体の協力により運営するスタイルをすでに確立していますが、今後の補助金減少に左右されずに学生競技者の走る機会を確保する努力が引き続き必要と考えられます。

- ・ロードカテゴリ制

ロード選手のカテゴリを實力別にクラス1, 2, 3, に分類し、選手権大会の参加資格者が決まる制度も定着してきました。これにより、本戦参加時までのレース経験度が上がり、選手権大会の安全性・競技レベルが向上しつつあると考えられます。クラス2の層の厚みが増したため、選手権大会でのエントリー資格はクラス2に限られるようになりました。クラス3は實力差の幅が広がりつつあり、特に春先の飯山ラウンドなどにおいてスキルアップ講習などの対応を行っています。

- ・全日本学生トラック・レース・シリーズ

ポイントレースなど競走系種目の実戦経験レベル向上を目指して開始されたTRSも、参加資格取得のための記録会的性格も備えて参加者も増え、定着してきました。近年の選手権大会での大会新記録・学連新記録の続出に寄与して成果をあげていると考えられます。

6 国際大会の開催・参加

- ・本連盟が主管・主催者として実施してきた「寛仁メモリアルワールドグランプリ」は昨年度からJICF主催「ジャパントラックカップ」にその称号を譲り、替わって本連盟主催UCIポイント対象トラック大会として2016年から長野県松本市で「JICF国際トラックカップ」を実施してきています。UCIカレンダー登録クラス2の大会としてUCIポイントが獲得可能な大会で、トラックレースシリーズ最終戦と併行開催することにより、学生がUCIポイントを獲得するチャンスをより広く確保することに貢献しています。
- ・日韓学生対抗自転車競技大会は最後し、外苑クリテリウムへの韓国大学チームの招待、JICF国際トラックカップを通じて引き続き日韓学生の交流を図ってきています。

7 会議・事業運営

本年度役員により運営されました。大会準備会合は毎週水曜日夜の定例会議を中心に進められました。日程に従い評議員会、理事会、委員会等を開催しました。

各大会の準備および当日の運営にあたっては、当番校からの学生委員も前年より多数の参加が得られるようになり、自分達ならびに後輩の走る機会を自ら確保する、という運営形態をより強固なものとしつつあります。参加者数に応じて競技役員を供出する運営方式の適用大会を上げたことにより、通年執務の学生委員の負担を平準化することができたほか、参加校学生にとっても運営面にかかわり競技に関する視野を広げるチャンスになっています。

8 むすび

加盟校数・登録選手数など裾野の拡大は、一進一退を経ながらもゆるやかに進行しており、当年度は過去最高の登記者数を記録しました。海外における大会での本連盟学生選手ならびに本連盟出身選手の活躍も活発化しつつあります。

シリーズ戦の地方開催など、自転車競技の普及発展にも一定の成果を上げ、それがインカレへの注目度の高まりにも貢献し、継続可能な体制に向けて事務局運営の見直し、学生委員・当番校制度の活性化が定着してきております。多くの関係者が連盟運営にかかわりつつ、低コストで高度な運営が可能な体質獲得に向けて一層の努力を続けていくことが望まれところであります。

日本学生自転車競技連盟2017年度 最優秀選手

※トラック/ロード ランキング年間最上位者

男子	トラック	坂井 洋 (日本大学)	ロード	武山 晃輔 (日本大学)
女子	トラック	岡本 二菜 (日本体育大学)	ロード	福田 咲絵 (慶應義塾大学)

全日本学生ロードレースカップシリーズ総合優勝： 岡部 祐太 (日本体育大学)

平成30年6月16日 第1回評議員会承認資料

日本学生自転車競技連盟
JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館4階 〒150-8050
ホームページ : <http://jicf.info/>
電子メール : jicf@remus.dti.ne.jp